

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	グリーンシーズン自転車観光誘客事業
事業主体 (連絡先)	大町市観光協会 大町市大町 3200 Tel 0261-22-0190
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,706,851 円 (うち支援金: 3,616,000 円)

事業内容

- (1) サイクリスト受入れ環境整備
 - ・サイクリスト専用 HP からの情報発信
 - ・サイクルステーション活用勉強会の開催
 - ・自転車を活用した誘客についての講演会
- (2) 自転車も観光の1つとする一般の観光客への情報発信
 - ・e-バイクツアーの開催
 - ・ガイドシステムを利用した新しいガイド方法の確立
 - ・FM 長野との共催ツアーなどでの広報活動
- (3) e-バイクレンタルの利用促進
 - ・レンタルしやすい料金へ改定
 - ・HP、SNS でのレンタル情報の発信



【ツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ①サイクルツーリズム推進に向けた受入環境整備
- ②サイクリスト、一般の観光客に向けた“自転車の街”おまち“の認知度 UP
- ③e-バイクレンタルの利用増加による市内の活性化

※自己評価 【 A 】

【理由】

この事業を通し会員だけでなく、多くの市民が自転車観光に興味を持つことができ自転車を一つの観光ツールとして認知してきた。さらにレンタルサイクルを目的に来るお客も来るようになり、e-バイクが誘客のツールに育ってきた。

事業効果

- (1)サイクルステーションは42件から51件と増えた。サイクリストが多く来店する店舗からの設置申込みが多数あった。その結果、サイクリストにとって必要な個所への設置が進み受入れ態勢はさらに整ってきた。また、勉強会では面識のないステーション同士で情報交換や意見交換などを行うことができステーション間のつながりができた。
- (2)バイクツアーや FM 長野との共催ツアーなどを開催することにより大町での自転車観光を広く県内に周知できた。また、ガイドシステムによるガイドは皆初めての体験で、お客はもとよりガイドにも大好評でお客様をもてなすことができるようになった。
- (3)レンタサイクル事業では問合せや e-バイクを目的にお越しになる方も多く認知度 UP と共に利用者が増えた。コロナ禍の中で、観光の一つのアイテムとして定着しつつある。
実績 7/9～11/30 4H 189 台 (前年 35 台) 8H 25 台 (前年 5 台)

今後の取り組み

- ①サイクリストへの取組として、現在のステーション間をつなぎ、お客様へのおもてなし方法やバイクラックの設置の仕方などの情報を共有化し、ステーション全体の質の向上に務めていく。
- ②レンタサイクル利用者へは、市内を探索して楽しんでいただけるよう新たなコース作りをして紹介出来る体制にしていく。
- ③FM 長野との共催ツアーなどで次年度も広く県内に PR し、自転車観光の定着を推し進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある